



ネクスタグループ 2024年度 環境経営レポート

(活動期間 2024年4月～2025年3月)

作成日：2025年6月30日
更新日：2025年7月4日



ごあいさつ

プレゼントをきれいに包む。新鮮な野菜をくるむ。美しい自然を包み込む。暮らしのなかのいたるところに包むこと・装うことが存在しています。その中で、包むこと・装うことにより、さまざまな暮らしの風景を鮮やかに演出していきたいと、わたしたちネクスタは考えています。

ところがわたしたちが暮らし、事業活動しているこの地球では、環境問題が日々深刻さを増してきています。そこでわたしたちネクスタは、「地球に優しい商品づくり、これこそネクスタの仕事です」を合言葉とし、商品・事業活動における取組を通じて、将来世代を視野に入れた環境負荷の低減を推進してきました。1912年の創業以来連綿と培ってきた「包む・装う」技術を活かして、人と自然が製品を通して一体となるという夢の実現に向けてより一層努力を続けてまいります。

代表取締役 鳥山 浩司

ネクスタグループ 環境経営方針

【環境理念】

私たちは地球環境の保全、改良、進化が、人類共通の重要課題のひとつであることを認識し、「包装文化の創造」を通して人と自然に優しい、豊かな社会づくりに貢献します。

【環境経営方針】

1. 紙袋、包装紙を始めとする包装資材の製造販売を行う事業活動において、環境に与える影響を的確に捉え、環境に配慮した技術、製品の提供と環境保全に努めます。
2. 事業活動による環境影響を評価し、環境負荷の低減と汚染の予防に努めます。
3. 省資源、省エネルギーに努め、廃棄物の削減とリサイクルを推進します。
4. 環境に関する法律、規則、協定や、必要に応じて定めた自主管理基準を遵守します。
5. 社会、地域における環境保全、改善活動に継続的に取り組みます。

【環境活動】

1. 環境配慮製品の企画、提案、販売
2. 省資源、省エネルギーの推進
 - ① 産業廃棄物の削減及びリサイクル化
 - ② 二酸化炭素排出量の削減
 - ③ 水使用量の削減
3. 環境に配慮した資材等の購入の促進
4. ふれあいを大切にすることで、環境をはじめとした地域、社会との連帯を図る

【合言葉】

『地球に優しい商品づくり、これこそネクスタの仕事です』

ネクスタグループ代表

ネクスタ株式会社

代表取締役 鳥山 浩司

制定日：2009年7月22日

改定日：2024年7月1日



組織の概要

名称及び代表者名	ネクスタ株式会社 代表取締役 鳥山 浩司	
所在地	ネクスタ 本社	大阪府大阪市城東区今福西3丁目2番24号
	東北営業所	宮城県仙台市青葉区国分町3-6-11 アーク仙台ビル6F
	東京支店	東京都台東区蔵前2丁目4番5号 K-FRONTビル
	名古屋営業所	愛知県名古屋市西区又徳町3丁目13番
	大阪支店	大阪府大阪市城東区今福西3丁目2番24号
	九州営業所	福岡県糟屋郡久山町猪野884番-1号
	ネクスタラッピイ 東京工場	東京都足立区中央本町5丁目22番12号
	千葉工場	千葉県野田市関宿台町2192
	名古屋工場	愛知県名古屋市西区又徳町3丁目13番
	関西工場	兵庫県三田市テクノパーク2丁目2号
	福井工場	福井県坂井市春江町針原47番7号
	福岡工場	福岡県糟屋郡久山町猪野884番-1号
	栃木工場	栃木県栃木市藤岡町藤岡4938
	兵庫三田工場	兵庫県三田市テクノパーク2丁目2号
	ミツワ紙工所 本社	東京都台東区蔵前2丁目4番5号 K-FRONTビル
	矢本工場	宮城県東松島市大塩字緑ヶ丘4丁目5-1

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	管理本部長	川口 幹人	TEL : 06-6932-7214
担当者	本社 総務部	アシスタントマネージャー 吉田 如男	TEL : 06-6932-7214

事業内容

包装用品の企画・製造・販売
環境保全商品の企画・製造・販売
(ネクスタ売上高: 150億円 2025年1月現在)

主要製品: 軽包装資材 (紙製手提げ袋など)、環境保全商品
重包装資材 (紙製米袋など)、化成品

事業の規模

<包装用品と環境保全関連商品の企画・開発・販売>

ネクスタ株式会社	本社	東北営業所	東京支店	名古屋営業所	大阪支店	九州営業所
従業員	16名	19名	34名	21名	47名	24名
延べ床面積	302m ²	54m ²	410m ²	1,200m ²	706m ²	2,138m ²

<軽包装用品、環境保全関連商品等の製造>

ネクスタラッピイ株式会社	東京工場	千葉工場	名古屋工場	関西工場	福井工場	福岡工場
従業員	14名	41名	25名	48名	6名	27名
延べ床面積	3,673m ²	8,885m ²	2,800m ²	6,995m ²	2,050m ²	4,990m ²

<産業用・農産物用紙袋等、重包装用品の製造>

ネクスタラッピイ株式会社	栃木工場	兵庫三田工場	株式会社ミツワ紙工所	本社	矢本工場
従業員	30名	22名		6名	29名
延べ床面積	9,937m ²	4,792m ²		46m ²	1,777m ²

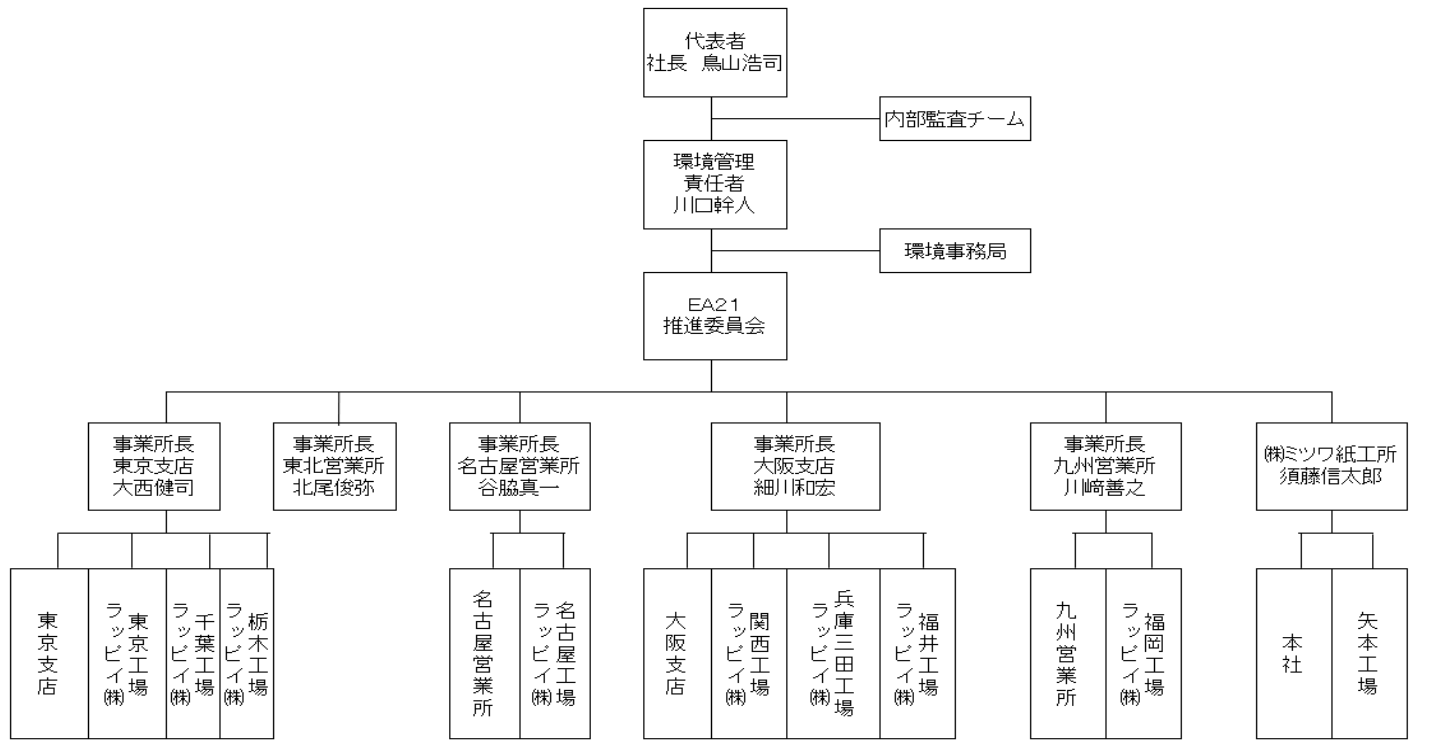
事業年度 2024年4月～2025年3月

(総従業員数/409名: 2025年1月31日時点)



認証・登録の対象組織・活動

ネクスタ株式会社 (包装用品・ 環境保全商品の販売)	本社・大阪支店 東北営業所 東京支店 名古屋営業所 九州営業所	
ネクスタラッピイ株式会社 (包装用品・ 環境保全商品の製造)	関西工場 東京工場 千葉工場 名古屋工場 福井工場 福岡工場 兵庫三田工場 栃木工場	FSSC22000認証取得済 FSSC22000認証取得済 FSSC22000認証取得済 FSSC22000認証取得済 FSSC22000認証取得済 FSSC22000認証取得済
株式会社ミツワ紙工所 (包装用品の製造)	本社 矢本工場	FSSC22000認証取得済





主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,624,993	1,605,293	1,574,859
廃棄物排出量	トン	376	458	514
廃棄物排出量(紙類)	トン	268	349	392
廃棄物排出量(廃インキ等)	トン	107	110	122
水使用量	m ³	7,802	8,082	7,829

CO2排出係数：0.351kg-CO2/kWh【2020年度関西電力(調整後)：全社共通】



環境経営活動目標・実績

項目	年度	基準値 (基準年度)	2024年		2025年	2026年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	1,379,609	1,365,813	1,348,610	1,352,017	1,338,221
	基準年比	(2023年)	99.0%	97.8%	98.0%	97.0%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	106,230	105,168	99,785	104,105	103,043
	基準年比	(2023年)	99.0%	93.9%	98.0%	97.0%
都市ガスの削減	kg-CO2	119,454	115,870	126,464	114,676	113,481
	基準年比	(2023年)	97.0%	105.9%	96.0%	95.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	1,605,293	1,586,851	1,574,859	1,570,798	1,554,745

廃棄物(紙類)の削減(廃棄分)	kg	349,209	345,717	391,863	342,225	338,733
	基準年比	(2023年)	99%	112%	98%	97%
廃棄物(廃インキ等)の削減	kg	110,220	109,118	121,900	108,016	106,913
	基準年比	(2023年)	99%	111%	98%	97%
水道水の削減	m ³	8,082	8,001	7,829	7,920	7,840
	基準年比	(2023年)	99%	97%	98%	97%
グリーン購入	%	40	40	37	50	60
	グリーン購入比	(2023年)				
製品への環境配慮	紙製ごみっこボイ	286,720	315,392	271,272	344,064	372,736
	販売実績(千円)	(2023年)	110%	95%	120%	130%

※「グリーン購入」は事務用品全ての購入実績をもとに算出しているため、金額母数にグリーン購入対象外の製品も含まれます



主な商品



手提袋・角底袋・平袋



重包装袋



フィルム包装



メッキンバッグ



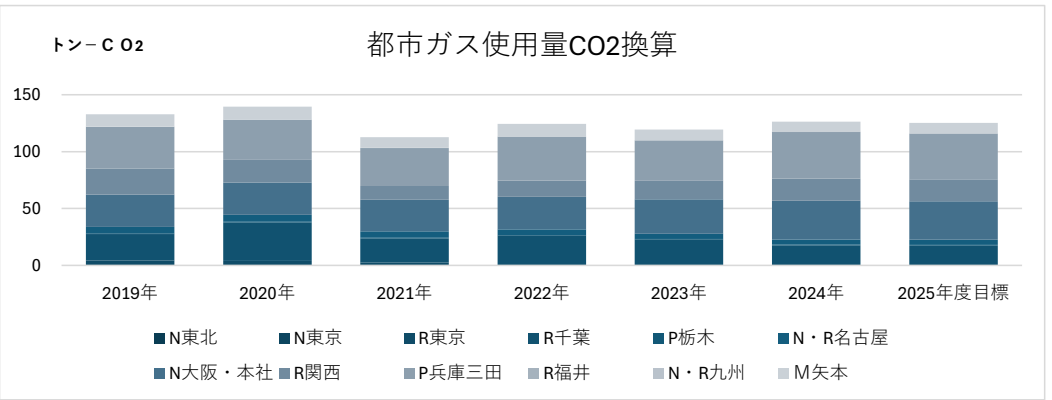
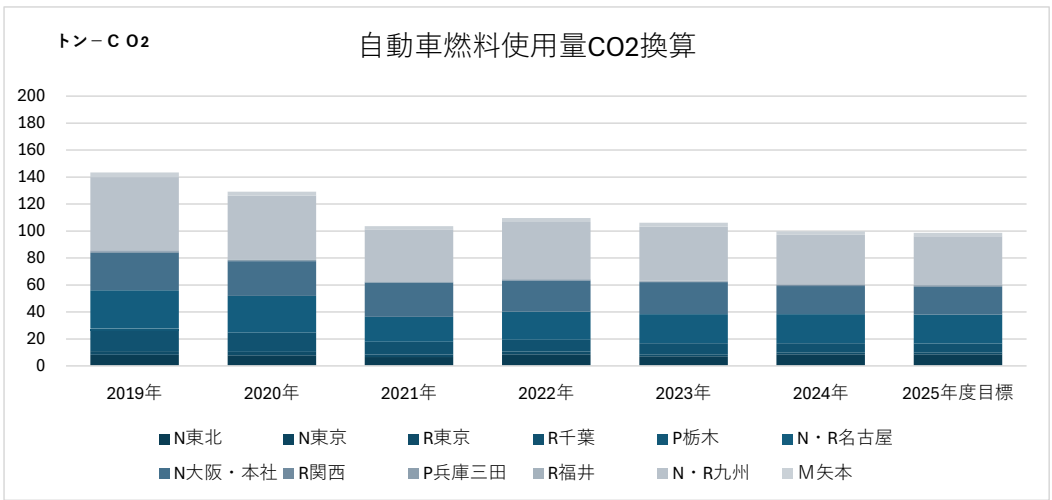
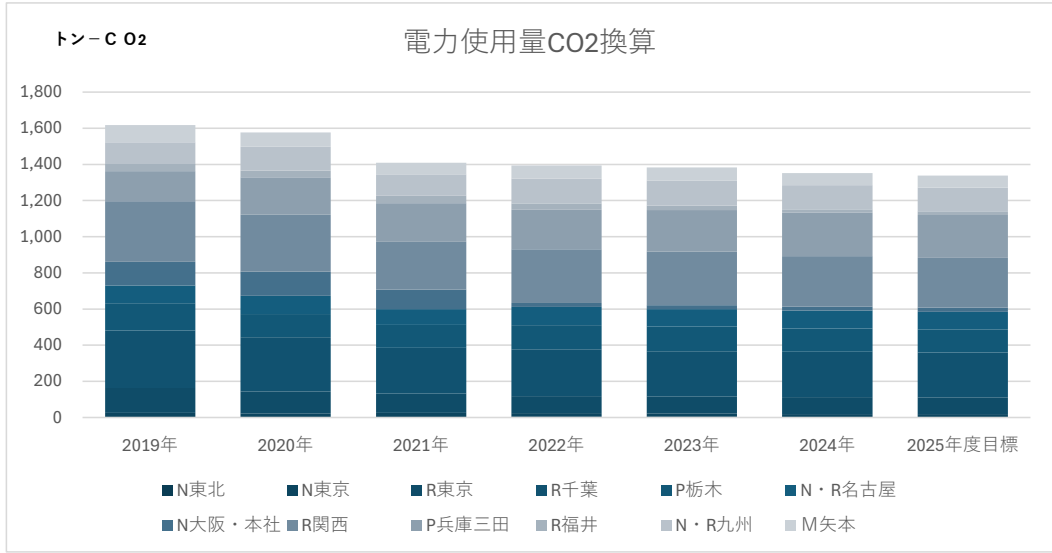
クリーンパッケージ

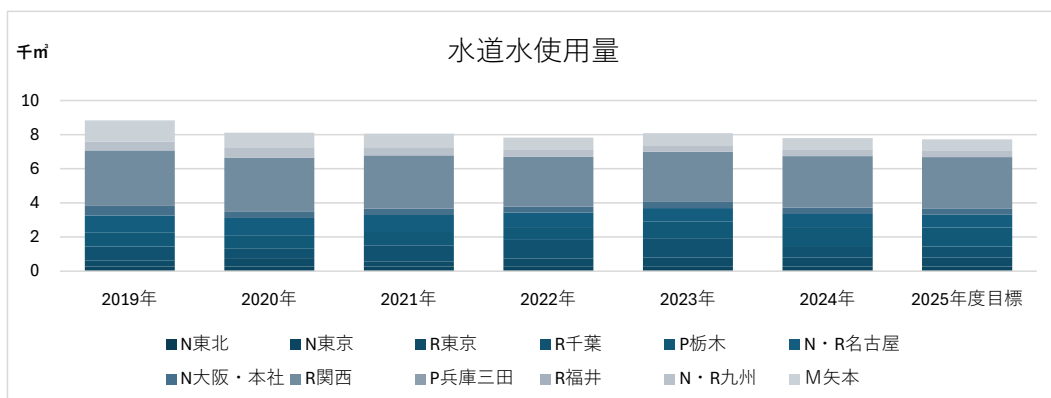
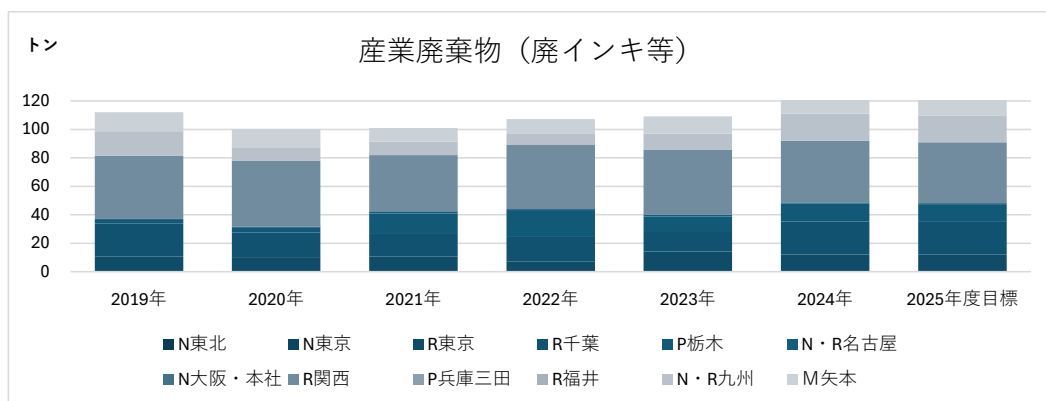
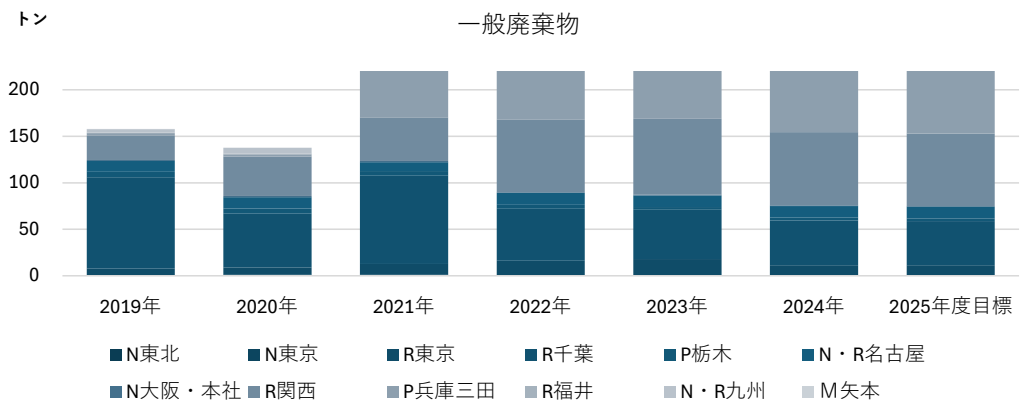


生活雑貨・環境配慮型商品



主な環境負荷の推移と目標(事業所別)







環境経営活動計画と結果及びその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

環境活動計画	結果	継続/変更	評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	達成		
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房22℃）	◎	継続	基準年と比較すると工場稼働率の低調により電力使用量は減少している。併せて省エネ設備導入（エアコン・LED化）の影響もあるかと思われる。
・事務室や工場・倉庫・共有部分などの未使用箇所消灯励行	◎	継続	
・クールビズ・クールチョイスへの取り組み	◎	継続	
・換気方法の見直し	◎	継続	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	◎	継続	
・デマンド監視装置の設置	◎	継続	
・省エネ設備導入	◎	継続	
・空気圧縮機の低圧化	○	継続	
・ブラインドの取付	○	継続	
・昼休み消灯	△	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	達成		
・エコカーの導入	◎	継続	各事業所の施策実施によりガソリン使用料が減少、エコカー導入や効率運転が浸透している。カーシェアやレール&ドライブの促進が進んでいる。
・エコドライブの促進	◎	継続	
・遠隔地営業時のレール&ドライブの促進	◎	継続	
都市ガスによる二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	未達成		
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房22℃）	△	継続	全体的な工場稼働率は低調であり使用量は減少傾向であったが、比較的稼働状況の良い工場の押し上げにより使用量が前年より増加。
・省エネ設備導入	△	継続	
廃棄物（紙類）の削減			
数値目標	未達成		
・分別の徹底	◎	継続	工場の稼働状況は低調にもかかわらず、生産ロスに歯止めがかからず改善と工夫でロス増加を抑制していく。
・生産ロスの削減	△	継続	
産業廃棄物（廃インキ等）の削減			
数値目標	未達成		
・排インクの処理費用の削減	△	継続	受注減に伴う残インクの処理費用の増加が目立つ、処理量の一定化や残インキ活用や管理を厳格に実施していく。
・適正なインキ量の発注	△	継続	
・パレットの再利用	○	継続	
・社内調色の推進	△	継続	
水道水の削減			
数値目標	達成		
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	◎	継続	増加原因の対策や、節水の呼びかけにより減少傾向
・メーターチェック	◎	継続	
グリーン購入			
数値目標	未達成		
・再生資源の優先購入	○	継続	ほぼ目標達成。さらなるグリーン購入の意識づけを図る。
・環境ラベル認証商品の優先購入	○	継続	
製品への環境配慮			
・環境配慮製品の販売促進	○	継続	継続的な拡販は維持。環境関連商品として品目を追加して販売活動を行っていく。
・再生資源の利用	◎	継続	
・オイスカ広報活動支援の推進	◎	継続	
社会貢献			
・（財）オイスカと協働したフィリピン植林活動	◎	継続	コロナ過後、フィリピン植林活動も復活し、（公財）オイスカとの協働を強化していく。
・オイスカ広報活動支援の推進	◎	継続	
・地域の学校からの研修受入等	◎	継続	

 事業所での取り組み例



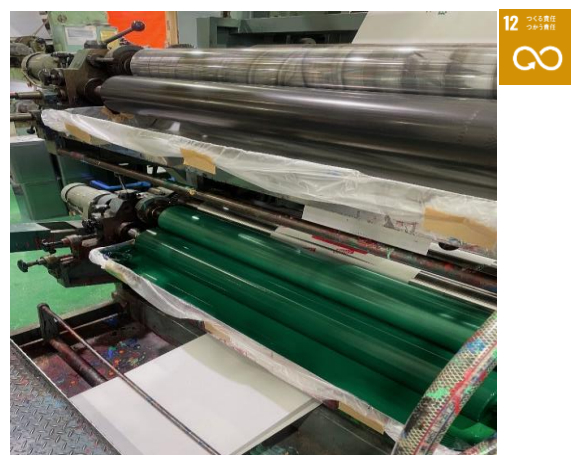
▲工場内の緑化活動（写真：栃木工場）



▲FSC認証紙・バイオマスインキの使用（写真：東北営業所）



▲工場見学（地元小学生）の実施（写真：千葉工場）



▲印刷機インキパンにシート敷による洗浄工程短縮の実施（写真：福岡工場）



▲工場の蛍光灯の全LED化（写真：関西工場）



▲オイスカ植林活動への参加



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油、紙くず、汚泥等）
フロン排出抑制法	業務用空調機、エアドライヤ（フロンの適切な処理、機器の点検）
消防法	消防設備定期点検、避難訓練、防火管理者の選任
家電リサイクル法	特定家電（テレビ、冷蔵庫、エアコンなど）の廃棄時には指定業者に依頼
騒音規制法	印刷機械・コンプレッサーの届け出
下水道法	水質測定報告書の提出
容器包装リサイクル法	再商品化委託契約、委託料金の支払い
労働安全衛生法	安全衛生委員会の開催、健康診断の実施、化学物質のリスクアセスメント
自動車リサイクル法	営業用乗用車、トラック
浄化槽法	浄化水槽
公害防止協定	公害防止協定の締結（関西工場・兵庫三田工場）
顧客要求事項	FSSC22000・FSC [®] （FSC C002285）マネジメントシステムの運用 ※1

※1 FSSC22000とは、食品安全マネジメントのための、国際的な規格のひとつです。FSC(Forest Stewardship Council)とは、「責任ある森林管理を広めること」を目的に設立された国際的非営利団体です。FSC認証は、「適切な森林管理」がなされていることを証明する制度になります。環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係当局よりの違反の指摘、訴訟等は、過去3年間ありませんでした。



環境経営活動、社会貢献活動の紹介

- （公財）オイスカの「海岸林再生プロジェクト」への参画（東日本大震災で壊滅した白砂青松を再生する）
- （公財）オイスカとの連携による「広報活動支援活動」
- （公財）オイスカの「子どもの森」活動への参画（寄付並びにフィリピン植林フォーラムへの社員の派遣）
- 大阪マラソンにチャリティランナーとしてネクスタグループ社員が出走し、寄付金で支援
- 地域の学校からの要請に基づいた工場見学。オイスカによる海外からの実習生の受け入れ（各地にて）
- 各地自治体環境関連部署で環境保全呼びかけ用ノベルティとして「紙製ごみっこポイ」が採用される



ネクスタグループ環境関連商品事例

- <植生緑化関連> アースネット（植生ネット）
- <生活排水対策関連> ごみっこポイ（台所用水切りごみ袋）
すわせてポイ
廃油処理パッド
紙製ごみっこポイ
ごみっこポイスタンドタイプ
- <その他 環境保全・リサイクル対策商品> ビカンパック（空瓶・空缶回収袋）
メッキンバッグ（医療用紙製フィルター）
紙製新聞・雑誌整理袋
エコロジーマインド（紙ひも）
紙製ストッカー
- 防鳥ネット（農園芸分野商品）
遮光ネット（省エネ支援商品）
紙資源回収袋
FSC（森林認証）紙製品



ネクスタグループ関連WEBサイト

- コーポレートサイト <https://www.nexta.co.jp/>
- ラッピング用品専門店 <https://tsutsun.com/>



代表者による全体の評価と見直し（見直し実施日：2025年6月27日）

- ・2024年度の電気の使用量は2023年度を若干下回り、グループ全体では目標を達成しているが、事業所毎にはばらつきがある。目標達成手段の共有を行い、全事業所での目標達成に繋げていく。
- ・また、ガスの使用量については大半の事業所で目標を達成しているものの、一部の大規模工場で使用量が増加しているため、全体でも目標未達となっている。使用量が増加した工場の要因分析が必要。
- ・産業廃棄物（紙類）削減については、リサイクル化は目標達成しているものの、廃棄分が大きく増加しており、総量も基準年比増加している。生産ロスの削減に一層注力し、目標達成に繋げていく。
- ・引き続き、再生資源の活用やサーキュラーエコノミーパッケージ提案などの循環型社会に向けた「仕組み」の提案を積極的に行っていく、事業活動を通じて環境保全に貢献していく所存。
※環境経営方針、環境経営目標、実施体制については変更ありません。